

# 議会質問

## 決算等審査特別委員会 健康福祉費(平成26年9月26日)

### ◆ひとり親家庭高等技能促進費等事業について

**質問 :**この事業は、ひとり親家庭の就労支援を目的に資格習得に要する期間の生活費を給付するものである。准看護師の資格を持っている場合は、正看護師の資格が受けられないようだが、国の基準とその理由を伺う。



**答弁 :**国の事業実施要綱では、資格取得への意欲等を的確に把握・審査や生活状況について聴取するなど、支給の必要性について十分把握することとされている。個別の事案について判断することとされており、准看護師の資格を持った方すべてが当該事業の対象にならないということではない。

**質問 :**国の原則はあるが、自治体で総合的に判断してよいということである。この制度の審査決定は子育て支援課で、申請受付は各区役所となっている。区役所の対応や職員の対応に差がないよう、一定の基準を決め運用してはいかがか。

**答弁 :**その方のご事情を総合的に判断する必要があるため、一律の基準の策定は困難であるが、各区での判断に差が生じることがないように、参考となる具体的な事例を各区で情報共有できるよう努めてまいりたい。

### その他質問項目

- ひとり親家庭高等技能促進費等事業の認識・広報等について。
- ペット納骨堂の駐車場増設・案内板設置・今後の運営等について。

## 教育費(平成26年10月3日)

### ◆生活保護世帯児童・生徒の就学援助対象である修学旅行費について

**質問 :**生活保護世帯児童・生徒の修学旅行費は、一旦立替払いをし修学旅行終了後に就学援助費として支給される。積立ての金額も大きいことから立て替えをせずに済むよう配慮すべき。相模原市や総社市のように前払い制度を導入してはいかがか。

**答弁 :**就学援助の対象者は、市内で1万人を超えており、年度ごとに申請を受けた後、審査や認否決定に一定の時間を要する。前払いの制度化は困難と考えている。

**質問 :**制度的に難しいのであれば、学校の運用という方法はいかがか。旅行業者の選定は学校に一任されているが、その際に生活保護世帯は後払いとの契約をすることは可能ではないかと考えるが、ご所見を伺う。

**答弁 :**学校と旅行業者との話し合いにより後払いにできるという方法について、一部の学校で既にとっているところもありますので調査しながら、生活保護世帯の方々が困難なく修学旅行に行けるよう検討してまいりたい。

会派としての総括質疑(10月6日)では入居者ご相談を受け、芦の口復興公営住宅(仙台市がNTT社宅を買い取り全面リフォームして平成25年度に整備したもの)の住戸の不具合について取り上げ、適切な対応を求めました。



### ◆質問項目

## 健康福祉委員会

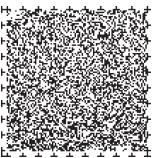
### (平成26年9月19日・10月21日)

- 平成27年4月からスタートする「子ども・子育て支援新制度」に伴う保護者向けのコールセンター開設について、土日祝日の拡充とホームページの拡充。

\*募集時期の10月27日から12月12日までについては、土日祝日も開設することになりました。

- 地域拠点保育所の設定基準・役割・人員体制・課題。

- 高齢者虐待の現状と対策。



SPコードは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。  
装置は、仙台市内各区役所に設置しております。

### ◇◇◇ 皆さまの声を力タチにしました!(実績抜粋) ◇◇◇

#### ■特定健診・基礎健診に「血清クレアチニン検査」が追加されました

平成24年第1回定例会の平成25年度予算等審査特別委員会において、腎臓病予防に有効な「血清クレアチニン検査」の導入を求めました。この問題は、平成20年度から国が導入した「特定健診」で、検査項目から「血清クレアチニン検査」が削除されました。しかし、近年、慢性腎臓病や人工透析患者が増加していることから、①「血清クレアチニン検査」が予防に有効であること。②独自に導入している尼崎市やさいたま市の事例。③予防に取り組むことが、増大する医療費の抑制に繋がると訴え、強く求めました。当時、「国の動向を注視しながら検討してまいりたい」との答弁でしたが、平成25年度より、仙台市独自で導入することになりました。 \*「血清クレアチニン」とは、筋肉中のたんぱく質が代謝された老廃物で腎臓機能が低下すると血液中に増加する。



#### ■茂庭台市営住宅の松の伐採

昨年、数人の入居者から、「大木となった松を伐採してほしい。」とのご相談がありました。現地を確認すると、住宅の法面に数十本の松が生い茂っていました。茂庭台市営住宅は昭和57年建設。仙台市で植樹したものではなく、いつの頃か、自然に生え長年の間に大木になっており、日照や花粉の問題で入居者の生活に支障をきたしておりました。早速、市営住宅課に申入れ、10月末、小木を含めて150本近くの松の伐採が完了しました。「長年の問題が解決し、陽当たりが良くなった」との喜びの声が上がっています。



伐採前

伐採後



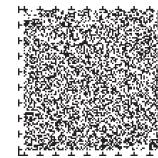
#### ■山田本町3付近の市道にカーブミラーの設置



「交通量の多い市道のカーブは見通しが悪く、少し勾配があるため、歩行者にとって危険であり接触・衝突事故もある」と事業所の方からご相談がありました。太白区道路課に申入れし、安全対策としてカーブミラーが設置されました。

#### ■秋保町境野七森付近の県道の安全対策

この県道の急カーブは、安全対策の視線誘導標が設置されているが、通行する車がカーブを曲がりきれず、溝に突っ込む事故が多いことから、住民の方から安全対策の要望がありました。秋保総合支所建設課に申入れし、更なる安全対策として線形誘導標を設置し注意喚起を強化しました。



■人来田1丁目25付近の個人宅敷地が、隣接の宅地復旧工事(公共事業)の影響により水はけが悪くなり、排水側溝の改善を行いました



SPコードは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。  
装置は、仙台市内各区役所に設置しております。